



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社大紀アルミニウム工業所 上場取引所 東  
 コード番号 5702 URL <https://www.dik-net.com/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)山本 隆章  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理部長 (氏名)黒須 弘人 (TEL) 06-6444-2751  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月22日 配当支払開始予定日 2021年6月23日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	139,194	△12.5	9,245	19.8	9,046	17.1	6,142	10.0
2020年3月期	159,079	△19.1	7,719	△4.8	7,723	8.4	5,586	10.4

(注) 包括利益 2021年3月期 5,886百万円(9.4%) 2020年3月期 5,380百万円(26.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	151.67	149.36	15.1	10.0	6.6
2020年3月期	137.88	135.78	15.5	8.9	4.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	97,567	43,785	44.2	1,063.85
2020年3月期	83,234	38,691	45.8	941.88

(参考) 自己資本 2021年3月期 43,088百万円 2020年3月期 38,148百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	△4,521	△4,972	6,219	5,702
2020年3月期	20,241	△5,929	△11,146	9,177

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00	1,012	18.1	2.8
2021年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00	1,134	18.5	2.8
2022年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00		—	

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	93,700	62.0	6,230	145.0	6,190	176.2	4,490	172.5	110.86
通期	195,200	40.2	11,150	20.6	10,930	20.8	7,830	27.5	193.32

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	43,629,235株	2020年3月期	43,629,235株
② 期末自己株式数	2021年3月期	3,126,975株	2020年3月期	3,126,760株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	40,502,383株	2020年3月期	40,516,927株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	88,688	△3.6	3,141	35.1	4,897	45.2	3,676	27.0
2020年3月期	92,022	△19.7	2,325	△28.5	3,372	△21.3	2,895	△26.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	90.77		89.39					
2020年3月期	71.48		70.39					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	65,542	31,679	48.1	778.58
2020年3月期	56,720	28,411	49.8	697.89

(参考) 自己資本 2021年3月期 31,534百万円 2020年3月期 28,266百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,300	53.7	1,580	362.5	2,150	213.0	1,590	234.3	39.26
通期	117,500	32.5	3,200	1.9	5,380	9.9	4,270	16.1	105.43

業績予想に関する注記

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2022年3月期の業績予想について本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動が抑制され消費活動が大幅に減少し、景気は急速に悪化しました。また、海外でも、依然として新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、世界経済の先行きは極めて不透明な状況で推移しました。

こうした環境のもと当社グループにおいては、大手需要先である自動車メーカーは上半期に比して、生産及び出荷は回復傾向で推移しました。

この結果、当社グループの連結売上高につきましては、前年同期に比して平均販売価格が低下したことにより、アルミニウム二次合金地金889億5千1百万円（前年同期比8.2%減）、商品・原料他502億4千3百万円（前年同期比19.2%減）で、これらを併せた売上高総額は1,391億9千4百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

収益面につきましては、自動車メーカーの半導体不足による生産の減少懸念があったものの、影響が軽微に推移したことと、製品価格と原料価格の価格差（スプレッド）が順調に推移した結果、経常損益につきましては、90億4千6百万円（前年同期比17.1%増）の利益となり、親会社株主に帰属する純損益は61億4千2百万円（前年同期比10.0%増）の利益を計上することとなりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

## (イ) 流動資産

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ125億6千5百万円増加し、708億6千8百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が84億9千8百万円、商品及び製品が20億8千6百万円、原材料及び貯蔵品が50億4千9百万円それぞれ増加したことと、現金及び預金が34億9千9百万円減少したことによるものであります。

## (ロ) 固定資産

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ17億6千7百万円増加し、266億9千8百万円となりました。これは主に有形固定資産が3億2千3百万円、投資有価証券が9億5千万円、退職給付に係る資産が3億9千7百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (ハ) 流動負債

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ96億6百万円増加し、442億3千4百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が16億5千7百万円、短期借入金が75億9千9百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (ニ) 固定負債

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ3億6千7百万円減少し、95億4千8百万円となりました。これは主に繰延税金負債が5億3千5百万円、資産除去債務が6千3百万円それぞれ増加したことと、長期借入金が9億7千2百万円減少したことによるものであります。

## (ホ) 純資産

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ50億9千3百万円増加し、437億8千5百万円となりました。これは主に利益剰余金が52億1千1百万円、その他有価証券評価差額金が5億8千6百万円、退職給付に係る調整累計額が3億9百万円それぞれ増加したことと、為替換算調整勘定が11億1千2百万円減少したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ34億7千4百万円減少し、57億2百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において営業活動による資金の減少は、主に税金等調整前当期純利益と減価償却費を計上したことと、売上債権とたな卸資産が増加したことにより45億2千1百万円（前年同期は202億4千1百万円の増加）となりました。

## (ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において投資活動による資金の減少は、主に有形固定資産の取得による支出により49億7千2百万円（前年同期は59億2千9百万円の減少）となりました。

## (ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において財務活動による資金の増加は、主に短期借入金の純増減額が増加したことと長期借入れによる収入や返済による支出と配当金の支払いにより62億1千9百万円（前年同期は111億4千6百万円の減少）となりました。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	32.9	37.4	45.8	44.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	32.5	29.8	28.1	44.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	3.4	1.5	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	12.8	26.7	—

(注) 2018年3月期及び2021年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) 及びインタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) については、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載を省略しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による世界的な消費の落ち込みや生産活動の停滞など、世界経済が減速することが懸念されており、予断を許さない状況が続くと見込まれます。

このような状況下において、当アルミニウム二次合金業界は大手需要先である自動車メーカーの生産動向の影響が大きいと見られ、先行きの不透明感が強い状況で推移するものと思われま

す。こうした中、当社グループは、需要に見合う効率的な生産体制、原材料の価格変動にも対応出来る購買体制を構築するなど、時代の変化に敏速に対応し、社業の発展に万全を期する所存であります。

次期の業績予想につきましては、連結売上高1,952億円、経常利益109億3千万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,276	5,777
受取手形及び売掛金	29,416	37,915
商品及び製品	8,760	10,847
仕掛品	276	138
原材料及び貯蔵品	7,394	12,443
その他	3,183	3,755
貸倒引当金	△4	△8
流動資産合計	58,303	70,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,182	16,433
減価償却累計額	△8,182	△8,409
建物及び構築物(純額)	5,999	8,023
機械装置及び運搬具	27,674	29,550
減価償却累計額	△20,252	△21,272
機械装置及び運搬具(純額)	7,422	8,278
工具、器具及び備品	1,524	1,615
減価償却累計額	△1,224	△1,274
工具、器具及び備品(純額)	300	341
土地	3,858	3,841
リース資産	1,293	1,216
減価償却累計額	△375	△382
リース資産(純額)	918	834
建設仮勘定	2,657	160
有形固定資産合計	21,156	21,480
無形固定資産		
のれん	16	—
その他	129	124
無形固定資産合計	145	124
投資その他の資産		
投資有価証券	2,877	3,828
長期貸付金	16	3
退職給付に係る資産	155	553
繰延税金資産	113	252
その他	683	682
貸倒引当金	△217	△227
投資その他の資産合計	3,628	5,093
固定資産合計	24,930	26,698
資産合計	83,234	97,567

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,909	8,566
短期借入金	22,641	30,241
未払金	1,647	1,254
未払法人税等	477	1,351
未払消費税等	227	115
未払費用	1,675	1,787
賞与引当金	280	357
その他	768	559
流動負債合計	34,627	44,234
固定負債		
長期借入金	8,698	7,725
役員退職慰労引当金	8	10
退職給付に係る負債	200	206
リース債務	103	100
資産除去債務	165	229
繰延税金負債	587	1,123
その他	152	150
固定負債合計	9,915	9,548
負債合計	44,543	53,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,346	6,346
資本剰余金	8,835	8,843
利益剰余金	23,326	28,538
自己株式	△1,340	△1,340
株主資本合計	37,167	42,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	609	1,195
繰延ヘッジ損益	77	14
為替換算調整勘定	367	△745
退職給付に係る調整累計額	△73	236
その他の包括利益累計額合計	980	700
新株予約権	145	145
非支配株主持分	397	551
純資産合計	38,691	43,785
負債純資産合計	83,234	97,567

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	159,079	139,194
売上原価	144,376	123,063
売上総利益	14,703	16,130
販売費及び一般管理費		
運搬費	3,059	3,063
交際費	89	39
旅費及び交通費	238	122
役員報酬	238	242
給料及び手当	957	1,052
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
賞与引当金繰入額	59	84
退職給付費用	41	52
賃借料	69	72
減価償却費	175	192
貸倒引当金繰入額	13	34
その他	2,037	1,926
販売費及び一般管理費合計	6,984	6,885
営業利益	7,719	9,245
営業外収益		
受取利息	97	30
受取配当金	277	209
為替差益	223	—
技術指導料	7	2
雇用調整助成金	—	50
鉄屑売却益	70	69
その他	166	132
営業外収益合計	842	495
営業外費用		
支払利息	748	385
手形売却損	10	4
為替差損	—	270
その他	80	33
営業外費用合計	839	694
経常利益	7,723	9,046



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	12	6
受取保険金	270	—
特別利益合計	283	6
<b>特別損失</b>		
固定資産除売却損	70	94
災害による損失	242	—
特別損失合計	313	94
税金等調整前当期純利益	7,693	8,958
法人税、住民税及び事業税	1,912	2,644
法人税等調整額	133	130
法人税等合計	2,046	2,774
当期純利益	5,647	6,183
非支配株主に帰属する当期純利益	60	40
親会社株主に帰属する当期純利益	5,586	6,142

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	5,647	6,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△499	586
繰延ヘッジ損益	59	△63
為替換算調整勘定	264	△1,129
退職給付に係る調整額	△91	309
その他の包括利益合計	△266	△297
包括利益	5,380	5,886
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,325	5,863
非支配株主に係る包括利益	54	23

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
当期首残高	6,346	8,837	18,755	△1,190		32,749
当期変動額						
剰余金の配当			△1,015			△1,015
親会社株主に帰属する当期純利益			5,586			5,586
自己株式の取得				△155		△155
自己株式の処分		△2		5		2
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	△2	4,571	△150		4,418
当期末残高	6,346	8,835	23,326	△1,340		37,167

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	1,108	18	97	17	1,241	148	378	34,516
当期変動額								
剰余金の配当								△1,015
親会社株主に帰属する当期純利益								5,586
自己株式の取得								△155
自己株式の処分								2
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△499	59	270	△90	△261	△2	19	△244
当期変動額合計	△499	59	270	△90	△261	△2	19	4,174
当期末残高	609	77	367	△73	980	145	397	38,691

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,346	8,835	23,326	△1,340	37,167
当期変動額					
剰余金の配当			△931		△931
親会社株主に帰属する当期純利益			6,142		6,142
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		8			8
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	8	5,211	△0	5,219
当期末残高	6,346	8,843	28,538	△1,340	42,387

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	609	77	367	△73	980	145	397	38,691
当期変動額								
剰余金の配当								△931
親会社株主に帰属する当期純利益								6,142
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								8
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	586	△63	△1,112	309	△279	—	153	△125
当期変動額合計	586	△63	△1,112	309	△279	—	153	5,093
当期末残高	1,195	14	△745	236	700	145	551	43,785

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	7,693	8,958
減価償却費	2,712	2,901
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	27	13
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	5	47
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13	23
受取利息及び受取配当金	△374	△240
支払利息	748	385
為替差損益 (△は益)	△222	89
固定資産除売却損益 (△は益)	57	88
受取保険金	△270	—
災害による損失	242	—
売上債権の増減額 (△は増加)	10,682	△8,953
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,150	△7,475
前渡金の増減額 (△は増加)	140	△400
未収入金の増減額 (△は増加)	△179	△237
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,510	1,879
その他	△3	△25
小計	22,915	△2,942
利息及び配当金の受取額	374	240
利息の支払額	△756	△385
保険金の受取額	—	270
法人税等の支払額	△2,292	△1,705
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,241	△4,521
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,948	△4,777
有形固定資産の売却による収入	21	12
投資有価証券の取得による支出	△35	△206
短期貸付けによる支出	△80	—
短期貸付金の回収による収入	220	0
その他	△107	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,929	△4,972
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△11,219	8,434
長期借入れによる収入	4,500	2,710
長期借入金の返済による支出	△3,152	△4,042
自己株式の純増減額 (△は増加)	△155	△0
配当金の支払額	△1,015	△931
株式の発行による収入	—	172
非支配株主への配当金の支払額	△35	△33
その他	△68	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,146	6,219
現金及び現金同等物に係る換算差額	△207	△199
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,958	△3,474
現金及び現金同等物の期首残高	5,244	9,177
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	975	—
現金及び現金同等物の期末残高	9,177	5,702

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (追加情報)

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、経済活動や生活行動等に広範な影響を与える事象であり、収束時期の正確な予測は困難であるものの、現在はワクチン接種が国内外で開始され、感染拡大は収束に向かうことが期待されることから、当社グループは現状、1年程度その影響が続き緩やかに回復するものと想定しております。当該仮定に基づき、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行った結果、当期の財政状態及び経営成績に影響はありませんでした。なお、この仮定は不確実性が高いため、収束が遅延し、影響が長期化した場合には、将来において財政状態・経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主としてアルミニウム二次合金の製造販売を行っているため、「アルミニウム二次合金」を報告セグメントとしております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産の金額に関する算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は市場価格等に基づいております。事業セグメント利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸 表計上額 (注)3
	アルミニウム 二次合金				
売上高					
外部顧客への売上高	154,877	4,201	159,079	—	159,079
セグメント間の内部売上 高又は振替高	941	27	969	△969	—
計	155,819	4,229	160,049	△969	159,079
セグメント利益	7,370	368	7,739	△19	7,719
セグメント資産	78,119	5,478	83,597	△363	83,234

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイカスト製品事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△19百万円には、セグメント間の取引消去金額1百万円、のれんの償却額△21百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△363百万円には、セグメント間の債権債務の消去額△359百万円、のれんの計上額16百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	アルミニウム 二次合金				
売上高					
外部顧客への売上高	135,096	4,098	139,194	—	139,194
セグメント間の内部売上 高又は振替高	955	21	977	△977	—
計	136,052	4,120	140,172	△977	139,194
セグメント利益	8,891	365	9,257	△11	9,245
セグメント資産	92,844	5,267	98,111	△544	97,567

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイカスト製品事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△11百万円には、セグメント間の取引消去金額4百万円、のれんの償却額△16百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△544百万円には、セグメント間の債権債務の消去額△526百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	941.88円	1,063.85円
1株当たり当期純利益	137.88円	151.67円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	135.78円	149.36円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	5,586	6,142
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	5,586	6,142
普通株式の期中平均株式数(株)	40,516,927	40,502,383
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	628,113	625,051
(うち新株予約権)(株)	(628,113)	(625,051)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要		—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	38,691	43,785
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	542	696
(うち新株予約権)	(145)	(145)
(うち非支配株主持分)	(397)	(551)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	38,148	43,088
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	40,502,475	40,502,260

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。